

研究・調査報告書

報告書番号	担当
330	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Lifetime prevalence of alcohol drinking, cigarette smoking, and solvent inhalation among junior high school students in Japan: tradition and urbanization. 日本人中学生における飲酒、喫煙および溶剤吸入の生涯普及率：伝統と都会化	
執筆者	
Wada K.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Nihon Arukoru Yakubutsu Igakkai Zasshi. 2001 Apr;36(2):124-41.	
キーワード	
飲酒、喫煙、溶剤吸入、中学生、都会化	
要 旨	
<p>千葉県の中学生における飲酒・喫煙・溶剤吸入の生涯普及率を評価するために、1992年に14校の中学の6115人を対象に調査を行った。</p> <p>飲酒の生涯普及率は男子で78.4%、女子で72.8%、全体では75.6%であった。喫煙の生涯普及率は男子では30.7%、女子では14.9%、全体では22.9%であった。溶剤吸入の生涯普及率は男子2.5%、女子1.2%、全体では1.9%であった。過去1年間の溶剤吸入普及率は男子で1.8%、女子で0.9%、全体では1.4%であった。</p> <p>さらに薬物使用の普及率と地域性の関係を明らかにするために、地域性を表す7つの指標を用いて重回帰分析を行った。重回帰分析では次のようなことが明らかとなった。1) 飲酒と喫煙の生涯普及率は持ち家率との間に高い標準化偏回帰係数を示した。2) 生涯および過去1年間の溶剤吸入普及率は昼夜間人口比との間に高い標準化偏回帰係数を示した。</p> <p>これらの係数より日本の中学生では旧来の生活様式や都会化と薬物使用の間に関係があると考えられる。</p>	